

起業支援ファンド
「Apricot Venture Fund 2号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称：中小機構 所在地：東京都港区 理事長：豊永厚志）は、ファンド出資事業（起業支援ファンド）において、Apricot Venture Fund 2 有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として 10 億円を出資することで合意し、組合契約を締結しました。

『Apricot Venture Fund 2号投資事業有限責任組合』は、事業会社出身者や若手起業家を対象に、インターネット領域のプレシード・シードステージに特化した投資を行い、起業支援プログラムや起業家コミュニティの運営、インキュベーションオフィスの提供や事業開発支援等の多様な支援策を通じて、創業から事業化までを強力に後押しするファンドです。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

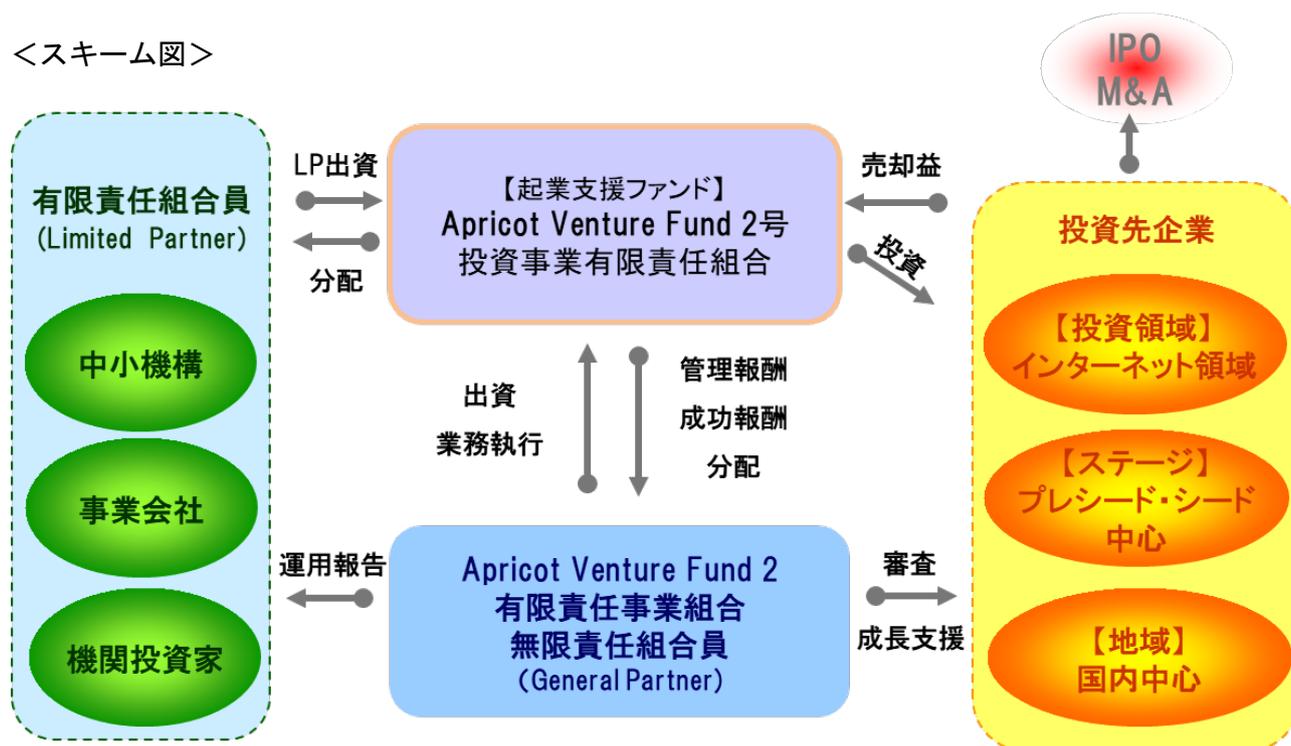
<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：鈴木、大穂）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37 森ビル
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「Apricot Venture Fund 2号投資事業有限責任組合」の概要

- 「Apricot Venture Fund 2号投資事業有限責任組合」は、Apricot Venture Fund 2有限責任事業組合を無限責任組合員として設立された投資ファンドです。
- Apricot Venture Fund 2有限責任事業組合は、白川 智樹 氏、木暮 圭佑 氏、株式会社アプリコット・ベンチャーズ、TLM株式会社を組合員とする、上記ファンドの運営事業体です。
- 白川氏、木暮氏は、それぞれが独立してファンド運営を行ってきましたが、今般、合流して本組合を設立しました。プレシード・シードステージに特化した投資を行い、起業家の育成に注力したファンド運営を行います。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小機構 HP 『ファンド出資事業に関する情報』

https://www.smrj.go.jp/supporter/fund_investment/index.html#info